

第88回 定期演奏会

ワグネル・ソサイエティー・ OBオーケストラ

田部井 剛

指揮

メンデルスゾーン／序曲「フィンガルの洞窟」作品26

ブラームス／ハイドンの主題による変奏曲 作品56a

メンデルスゾーン／交響曲第5番「宗教改革」ニ長調 作品107

2021年8月15日(日) ミューザ川崎シンフォニーホール

14:00開演(開場13:00)

JR川崎駅西口徒歩3分

全席指定 ¥2,000

お問い合わせ先 演奏会事務局
TEL.090-1044-4412

WSOホームページ <http://www.wagner-ob.jp>
WSOメールアドレス office@wagner-ob.jp



ご来場くださるお客様へ 新型コロナウイルス感染拡大防止のためお願い

- ・会場内ではマスクを常時着用し、咳エチケットへのご協力をお願いします。
- ・客席内での会話はお控えいただき、他のお客様との接触を少なくしていただきますようお願いいたします。
- ・こまめな手洗い、手指の消毒をお願いいたします。
- ・体調に諸症状(発熱/頭痛/のどの痛み/せき/くしゃみ/寒気/節々の痛み/リンパ節の腫れ/嗅覚・味覚障害)がある、または体調が優れない場合は、ご来場をお控えください。
- ・飲食物の販売は行いません。お飲み物はご自身でご用意ください。
- ・「ブラボー」などの声掛けはご遠慮ください。拍手のみで応援をお願いいたします。
- ・出演者による面会、サイン会は実施しません。楽屋口での出待ちはお断りいたします。
- ・出演者へのプレゼントや花束の贈り物はご遠慮ください。受付にてのお預かりもいたしません。
- ・公演中などに感染者または感染の疑われる方が発生した場合、保健所などの公的機関による聞き取り調査にご協力いただく場合がございますので、予めご了承ください。
- ・お客様ご自身が公演終了後2週間以内に体調不良になった場合、直ちにご連絡くださいますようお願いいたします。
連絡先メールアドレス：office@wagner-ob.jp
連絡先電話番号：090-1044-4412
- ・新型コロナウイルス接触確認アプリCOCOAをご活用ください。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、席数が限られております。チケットは当団ホームページでのご招待および当日券販売のみとさせていただきます。詳しくは当団ホームページ (<http://www.wagner-ob.jp/>) をご覧ください。



ワグネル・ソサィエティー・OBオーケストラ

田部井 剛 指揮

早稲田大学商学部卒業。東京音楽大学指揮科研究生修了、東京芸術大学指揮科卒業。

これまでに指揮法を遠藤雅古、神宮章、武藤英明、佐藤功太郎、ジェームズ・ロックハート、広上淳一、三石精一の各氏に、ピアノを岩津章子、秦はるひ、藤田雅の諸氏に師事。

1999年には芸大在学中に日本フィルハーモニー交響楽団にて巨匠エリック・ハイドシェック氏とマルセル・デラノワ作曲「5月の協奏曲」を協演・指揮（日本初演）。ソリストであるハイドシェック氏は、田部井の読譜能力の高さ、また叙情的でリズムに溢れた演奏に対し、「ヤング・トスカニーニ」と讃えた。2002年には「モーツァルト名曲コンサート」にて再びハイドシェック氏と共演、新日本フィルハーモニー交響楽団を指揮。青柳いづみこ著「ピアニストがみたピアニスト」〈Pianistes vus par pianiste〉（白水社刊）では、そこでの協奏曲における絶妙な指揮ぶりについて著述されている。2003年には室内合奏団「カメラータ・ジオン」（Camerata Jion）を結成し、ヴァイオリニスト川島成道、チェリスト青木十良の諸氏と共演するなど積極的な活動をしている。2005年にはハイドシェック夫妻との国内ツアーを成功させ話題を呼んだ。そのライブ録音が仏アンテグラル社（Integral Classics France INT 221.156）よりリリースされている。また、漆原啓子、宮田大、林峰男、上村昇、永井和子、佐々木典子、カテリーナショット、宗次郎、クミコ、岡本知高、故江戸家猫八、谷川俊太郎などジャンルを問わず内外の様々なアーティストと共演し、高い信頼が寄せられている。

このほか群馬交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、東京シティフィルハーモニック管弦楽団、ニューフィルハーモニーオーケストラ千葉、東京佼成ウィンドオーケストラ、ザ・シン

フォニーホールチェンバーアンサンブル等を指揮。2006年にはチェコの名門、ターリヒ室内管を指揮し、モーツァルトの交響曲をレコーディング、そのCDがキングインターナショナルよりリリースされている（STUDIO FLORA B-2704）。

2010年には日本フィルハーモニー交響楽団にて文化庁主催公演（計9公演）を指揮した。2012年より桐蔭学園「第九の会」指揮者を務める。2013年には伝説のチェリストと謳われる、クリスティヌ・ワレフスカ女史とドボルジャークのチェロ協奏曲を共演、氏より「偉大な才能」と高く評価された。2018年にはハイドシェック来日50周年記念ツアーを指揮し、その公演は「音楽の友」誌上等で絶賛される。

また、ピアニストとしても非凡な能力を発揮し、ウィーンフィル首席チェロ奏者フリッツ・ドレシャル（Fritz Dolezal）、勝部太、寺谷千枝子、平松英子諸氏等と共演している。2009年には白土文雄（チューリッヒ・トーンハレ元首席コントラバス奏者）のレコーディングにチェンバロ奏者として参加、Harmony社より「モノログ」がリリースされた（HCC 2049）。2012年にはドビュッシー生誕150周年に際し、浜離宮朝日ホールにて行われた、文学キャバレ「黒猫」とその仲間たち、また、カワイコンサートサロン「パウゼ」にて行われたドビュッシーフェスティバル2012に出演、青柳いづみこ氏と連弾曲を演奏、好評を博した。2013年には再び白土文雄とのデュオアルバム“Basso d'Amore”をOpus 55よりリリースし、稀有な室内楽奏者としての高い評価がなされている（OPPF-10019）。2020年にはカプレ編によるピアノ2台6手版ドビュッシーの「海」のCDをottava社よりリリース、レコード芸術誌特選盤となる。2009年、上毛芸術文化賞受賞。

ミュージア川崎
シンフォニーホール
JR川崎駅西口徒歩3分

※就学前のお子様の客席へのご入場はご遠慮いただいております。

